



2025年12月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白江 浩
 編集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2025年12月12日発行 SSKO通巻12062号

2025年重大ニュース〜一年をふり返って〜

第1位 第25回ありのまま自立大賞授賞式〜27年の歴史に幕〜



1999年に始まった「ありのまま自立大賞」は今年25回の授賞式を行い、27年の歴史に幕を閉じました。自立の概念を変えること、地道に自らの道を切り開いている方を掘り起こし社会に伝えていくことを目的に、山田富也さんと寛仁親王殿下が創設しました。これまで41名9団体が授賞し歴史に刻まれました。最後の授賞式では「ありのまま自立特別賞」に石川准様(静岡県)、「ありのまま自立支援大賞(団体)」に重度障害者・生涯学習ネットワーク様が授賞されました。

第2位 第36回ありのまま生活福祉講座開催



今年も「ありのまま生活福祉講座」を開催しました。座長の彬子女王殿下に御臨席を賜りおことばをいただきました。講師には京都産業大学文化学部教授 小林一彦様と、バイオリニストで元パラリンピック水泳日本代表の伊藤真波様をお迎えしました。大変分かりやすく自分自身の身近に感じられる大変貴重なお話でした。受講された皆様からも大変好評で「とても心に響きました」と感想をいただきました。

第3位 コロナウイルスクラスター対応

今年2月に亘理ありのまま舎、10月に太白ありのまま舎にてコロナウイルスのクラスターが発生しました。幸いにも重症化になった入居者はいなかったですが、スタッフも多く感染し、その感染力の強さは変わっていないことを改めて実感しました。

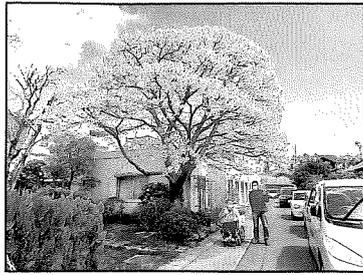
薫る風

十一月二十四日早朝に一人の入居者Sさんが太白ありのまま舎で亡くなりました。ウイルスン病で太白ありのまま舎開設時からの入居者で、私にとっては誕生チケット(入居者の希望の日に希望のスタップと過ごすチケット)で出かけた回数が二番目に多かった。お互いにおそば好きで、おそばの食べ歩きを楽しませてもらった。コロナ禍で外出が出来なくなる前年にもおそばと買い物を楽しんでおられた。今もその日は鮮明に覚えている。その更に前年に比べ嚥下機能の低下が大きく、看護師や管理栄養士から出かける前に、嚥下状態について詳しい説明と注意を受けた。ご存じの方も多いと思うが、麺類の誤嚥を防ぐのはなかなか難しく、例年通り出かけても良いものか。普段の食事の状態を見ていない私で大丈夫か。説明するスタップの不安が伝わってきた。むせはあったが、何とかその時はご本人と相談しながら、無事そばを食べて買い物をして帰ってきた。しかし、その後コロナ禍で思うように外出ができず、ましてや外食はできなかつた。それと並行してSさんの様子が大きく変化していった。ウイルスン病の重症化による変化を経験したことがなかったため、その後の変化を予測できなかった。大学病院等医療機関の受診等を経て、助言を頂き、ご本人の意思に沿って、当舎の医師と協議し、本年九月まで試行錯誤が続いた。この3か月弱は看護師、ケアスタップの先の見えない、ある意味悲痛な取組が続いた。ホスピスケアは病やケガの治療を経て再び旅に戻るためのケアを指す。その願いを込め、亡くなる一週間前にホスピス会議を開催した。ご本人は出席できなかったが、ご家族の意向も踏まえつつ、スタップの心的負担も考え全セクションで対応を確認し、ご家族も一緒に最後のお別れをした。(白江浩)

各事業所重大ニュース

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

今年6月に新しい入居者が入居されました。「好きな料理をした」と希望をホームで叶えることができ、次の目標は「車に乗って外出したい」とリハビリを頑張っておられます。進行性の難病をお持ちの方ですが、前向きに取り組まれている姿に皆が元気をもらっています。



入居者の方と桜の木の下で

今年新たに一般就労や通所に通われる方が増えました。体調を崩さず元気に通うことができ、また外部の方とのつながりができ、時には悩みや不安を抱える場面もありますが、様々な経験を通して感じていることも多くあります。障害の重度に関わらず、ご自分のやりたいことを少しずつ叶えることができました。方が多かった一年でした。

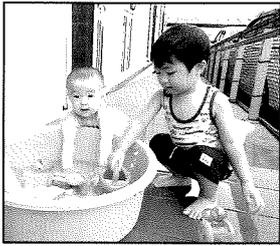
(佐藤環)

【チャイルドケア 仙台ありのまま保育園】

今年には相次ぐクマの被害や出沒によって、紅葉や観光が楽しめる状況ではないまま、秋が駆け抜けていった気がします。保育園がある周辺地域は山や森など自然が豊かなため出沒情報も多く、岩手県では保育園の敷地内に侵入したという事例もあり、他人ごとではなく今後は今までにない対策にも努めていかないといけないと改めて思い知らされました。

冬に入れば冬眠しますが、今年には冬眠も危ぶまれています。やはり餌となるどんぐりがここ数年、保育園周辺の公園でも実らなくなっていました。温暖化の影響が身に染みて、さらに危機感を強めています。今後も引き続き警戒を強めて過ごしていきたいと思えます。来年は明るい話題が増えるといいなと切に願います。

(春日麻里)



年間を通じ様々な行事に取り組みました。

【難病ホス。ピスケア 太白ありのまま舎】

2025年2月26日に発生した岩手県大船渡市の山林火災の影響で、同じ仲間の障害者支援施設から1名の避難者の受入れを行ないました。施設の皆様は無事にお戻りになりましたが、改めて自然災害の怖さを考えさせられました。また2月にミヤンマーから2名の特定技能人材と5月にラオスから2名の留学生の受入れを行い、新しい仲間として一緒に活動を進めております。

7月1日から既存の施設のショートステイとは別に診療所に併設する形の医療型ショートステイの事業所指定を受けスタートしております。10月には基本的な感染対策を講じていたことが、入居者とスタッフにコロナウイルス感染症がまん延しました。幸いにして重度化・重症化する方はおらず20日間程で終息しました。改めて感染症の怖さを実感しました。災害や感染症の怖さを改めて実感した年となりました。

(嶺岸智)



今年も地域の夏祭りに参加しました。

【難病ホス。ピスケア 巨理ありのまま舎】

今年度は改めて災害時の対応について考える機会となる事がありました。

①6月19日に停電を伴うソーラー設備増設工事がありました。屋上へのソーラーパネル増設に伴い、夜間20時〜早朝にかけての停電がありました。夜間帯の長時間の停電は初めてで、工事にあたり最も必要なナースコールの電源について、今回停電時でも使用出来るように電源を取るためのコンセントを増設してもらいました。

②7月30日のカムチャッカ半島地震で発生した津波で巨理町にも避難指示が出ました。水害浸水区域ではない立地ですが、一時入居者・利用者の方を2階に移動して頂きました。大津波発生時の対応について考える機会となりました。

(金子仁)



避難訓練の様子。様々な災害時の対応の大切さを学びました。

レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100

本 司	店 022-224-0100 卸	司	店 022-237-0100 仙 台 空 港	店 0223-22-0100 新 幹 線 くりこま 高 原 駅 前 店	0228-21-2100
交 通 駅 前 店	022-221-0100 高 野	野 2 8 6	店 022-254-0100 各 取 駅 前 店	022-381-0100 石 巻 駅 前 店	0225-21-7007
仙 台 駅 西 口 店	022-213-0100 鹿 野 2 8 6	店	022-246-0100 新 幹 線 白 石 蔵 王 駅 前 店	0224-22-0252 石 巻 駅 前 店	0225-22-0100
仙 台 駅 東 口 店	022-293-0100 泉 中 央 駅 前 店	022-372-0100 新 幹 線 古 川 駅 前 店	0229-23-0100 気 仙 沼 店	0226-22-0100	


新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
 その他ウェルキャブもラインナップしております。

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

今年度は一歳児三名で始まり、引越し等で入退園がありましたが、先月、穏やかに遊ぶ女の子が新しく入園しました。人見知りが強めだったので、お友だちと対面してどういう雰囲気になるか楽しみでした。

初めましては、やはりお友だちにも疑心暗鬼な様子でしたが、周囲をしっかりと観察していて、様子を伺いながらも少しずつやり取りを楽しみむようになり、お互い同じことをしてみても笑い合っています。とても微笑ましく、お互いに良い影響を受けている様子に安心しました。

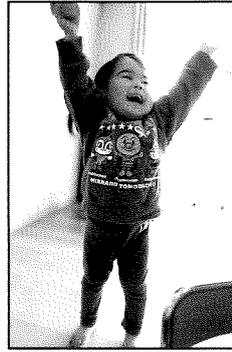
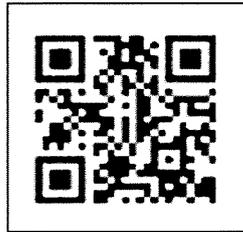
これから、新入園の女の子も園生活に慣れ、もう少し自我が出てくるようになったら、また関係性が変化するかもしれないが、子どもたちはそういう人との関わり方を、大人が考えているよりもしっかりと様子を見



新しいお友だちが増え、良い雰囲気
で仲良く遊んでいます。

【ありのまま舎ホームページ】

ホームページのQRコードです。各事業所や出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご利用ください。



保育をしていると、こういったやり取りや成長が見られることが本当に面白いと思います。
(春日麻里)

名取エリア

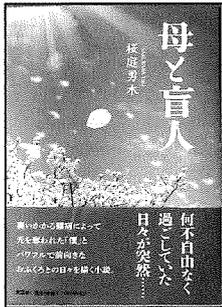
【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

今回のインタビューは特別編として、当事業所をご利用のAさんが書籍を出版されましたので、ご紹介します。

Aさんは30代で難病のベータエッセト病を発症し、その後40代で視力を失われました。現在音声入力ソフトを用いて執筆活動を行っており、「視覚障害者の日常や考え方、普段の生活で感じていることなどを伝えたい」という思いから、視覚障害をテーマにした作品を継続して制作されています。

今回ご紹介する書籍は、筆名・桜庭勇木による『母と盲人』です。今年10月に文芸社より出版されました。「ちよつと笑って、ちよつと泣ける」母と僕の日々をフィクションとして描いた物語です。

書店でお取り寄せいただくかウェブストアでもご購入いただけますので、ぜひ一読ください。
(熊谷経子)



亘理エリア

【サポートケア亘理ありのまま舎
舎基幹相談支援センター】

11月21日(金)に亘理町役場を会場に亘理町2025「福祉・就労フェア」見つけよう！自分らしい仕事と出会い」を開催しました。

「福祉・就労フェア」とは、亘理町障害者等地域自立支援協議会の地域支援部会が、町内の就労継続支援B型事業所等の販売会を開催することで、地域住民へ障害のある方の就労について理解を深め、また障害のある方の福祉的就労を促進させることを目的に三年前から開催しているイベントです。

当日は、あいにくの雨でしたが、亘理町内外から15事業所や団体が参加して、それぞれの事業所で作った食品(お弁当や惣菜、パン、焼き菓子、豆腐等)や手芸品、アクセサリー、木工等を販売しました。また体験コーナー、めだかすくい、キッチンカー等も出店し、今年も多くの来場者の方にお越しいただき大盛況で終わることが出来ました。

今後も障害のある方の就労促進や啓発活動を地域支援者と一緒に応援していきたいと思っております。
(蒲生豊一)

【サポートケア県南ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

亘理町の障害者等地域自立支援協議会地域支援部会の活動の一つである「福祉・就労フェア」が11月に開催されました。町内や町外の就労継続支援B型事業所等の販売会を通じて地域住民の障害のある方の就労について理解を深め、福祉的就労を促進させることを目的としており、今年も「見つけよう！自分らしい仕事と出会い」と副題を掲げました。

野菜を育てたり手工芸品やお惣菜やお菓子を作ったり、地域の清掃活動を行ったりと取組は様々ですが、障害者の就労の認知度は決して高くはありません。町内に障害者の事業所はあれど何をしているかは分からないという住民の方は多く、実際に相談を受ける中で「こんな所があったなんて知らなかった」という声を耳にすることもありますが、知る機会、触れる機会がないままです。だからこそ「福祉・就労フェア」は障害を持つ方々の活動や情報を発信する場としての役割があります。

私も支援者として、相談者様を希望される福祉的就労につなげて地域の輪をつないでいきたいと思っております。
(根元香奈子)

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】
【アクティヴィティケア】

11月に、山元支援学校、角田支援学校より2名の方の職場実習の受け入れを行いました。

2名の方とも、現在は支援学校2年生で、卒業後の進路として、亘理ありのまま舎の生活介護利用を考えているとの事で、今回体験して頂くこととなりました。お一人は11月4日(火)～6日(木)の3日間、もうお一人は11月18日(火)～20日(木)の3日間の実習となりました。実習にあたっては担任の先生が3日間付き添い、ご本人に必要なサポートをして頂きました。

お一人は体操や音楽が大好きで、実習初日は戸惑う事もありましたが、徐々に慣れて、最終日には新しい体操をマスターしていました。また好きな歌は合わせて歌って笑顔で活動して下さいました。

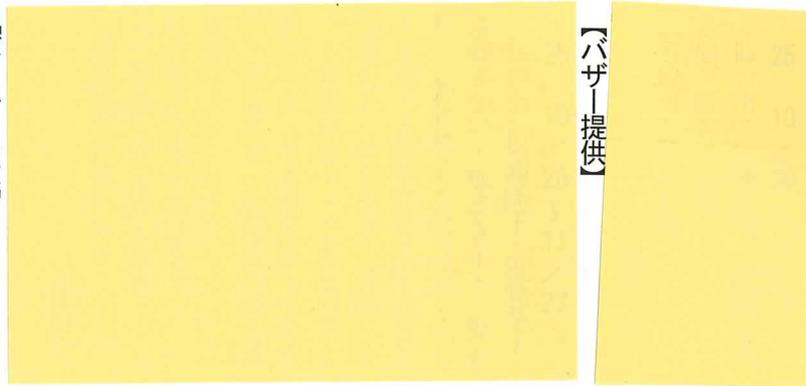
お一人は、初めの体操の後は、ご自身のお好きなパズルなどに集中して取り組まれる様子が印象的でした。発作もある方でしたが、3日間体調は変わららずに通って頂くことが出来ました。11月という事で感染症に注意の必要な時期ではありませんが、元気に体験をして頂くことが出来ました。今後の利用に繋がれば良いと思います。

(金子仁)

「ご支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書損じはがき等】

【バザー提供】



【ボトルカンパ】
25 10 / 26 5 11 / 27
ウインマート向陽台本店
(富谷市) 31, 927円

十月いっぱいまで閉店される、とのお知らせを頂きました。活気あふれる店内が大変印象的でした。永年に亘るお支えに心より感謝申し上げます。

ウジエスーパー西多賀店

(太白区) 30,304円

地域密着型のスーパーマーケットとして、宮城県内のみならず全国からも注目されております。自立ホームのご近所で、日常的に大変お世話になっております。

(鈴木一彦)

【バザー開催日のご案内】

《2026年1月》

- 6日(火) コークベニマル山田鉤取店
- 8日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 13日(火) ヨークベニマル南吉成店
- 20日(火) ヤマザワ茂産店
- 22日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 27日(火) 袋原(向日葵ライフ サポートセンター)
- 31日(土) ありのままショップセール (仙台ありのまま舎)



ありのまま舎後援会(敬称略)

全国の後援会員の皆様より会費を頂戴しありがとうございました。(佐藤環)

◆【自販機販売設置支援】

10月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop
宮城推進本部 1,595円
ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア
県南・亘理ありのまま舎)
7,068円



精神科・心療内科
HIGASHIGUTI CLINIC

医療法人社団 名取駅東口クリニック

〒981-1224 名取市増田4-7-20 グローリオレジデンス名取駅前2階
TEL:022-382-5955 FAX:022-382-6505

「協力ありがとうございました
（敬称略）」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校 JRC 有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区仙台北三番丁教会と、仙台宮城野教会婦人会の皆様にご協力いただきながらお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様は、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。シヨップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

宮城県車いすダンス協会様や、茂庭台ボランティアグループの皆様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策に気を付けながら、活動を進めていきたいと考えております。

寒さが一段と厳しくなってきました。どうぞお身体を大切に、温かくお過ごしください。健やかに新しい年を迎えられますようお祈り申し上げます。

(遠藤寿子)

今月「奉仕いただいた皆様」

【仙台北三番丁教会】

ありのまま舎との関わりは地区の教会婦人会を通し、長い付き合い合いです。当初は西多賀の施設に伺い会報「自立」の折込をしていただきました。山田富也さんや入居者の方、地域の方々と一緒に作業を行いました。筋ジストロフィーの難病を知ったのもその頃でした。今は年2回ほど各教会での作業に変わり、機関誌の折り方も私たちの負担を考え、今の折り方に変えられたのも有難い出来事でした。職員さんが手間のかかる仕上げをして運んで下さることに感謝し大勢の方に知っていただくために微力ながら体力の続く限り用いていたきたいと思います。



北三番丁教会の皆様

入居者や職員の皆様様が健康に恵まれ、ますますご活躍されますよう、北三番丁教会員一同祈っております。

【仙台宮城野教会】

仙台市内の教会で長年続けてきたありのまま舎のご奉仕はコロナ禍にあつてすつかり変わってしまいました。2020年度は全くできなかった奉仕を当時担当だった中村さんと何とか奉仕が出来ないものかと相談した結果、奉仕の形を変えて2021年6月からありのまま舎に私たちが出向くのではなく、ありのまま舎の方が当番教会に会報と帯封を届け、仕上がったものを回収するという形になりました。ありのまま舎の係の方はいつも集っていた教会を知る機会となり、また教会では今まで奉仕に参加できなかった方たちが加わり、ありのまま舎の活動を知る機会となりました。

ありのまま舎さんへの訪問の機会がほとんどなくなってしまうのは寂しいですが、教会のより多くの会員がご奉仕に関わることが出来、ありのまま舎をより身近に感じる事が出来るようになったことは嬉しいです。これからも無理のない形で微力ではありますが、このご奉仕を続けていきたいと心から願っています。そしてその思いは各教会の皆さんも同じです。ありのまま舎の活動を応援しています。



「ありのまま舎運営協力寄付金」
25 / 9 / 10 / 31
(敬称略)

